

忍野中伝統のキャリア教育『職業講話』

～自らの生き方を主体的に創る進路指導をめざして地域を学び・地域の人に学ぶ～

1. 目的と経緯

- ・啓発的体験学習のひとつとして地域を学び、保護者や地域の人から学ぶ機会とする。
- ・主体的に学び、自分の将来や職業について考えるきっかけとする。
- ・今年度で27回目を迎える伝統行事である。



2. 内容

- ・いろんなジャンルの職業から15講座前後開設する。講義や実習（1時間半）
今年度の開設講座は、消防士、パティシエ、電車の運転手、看護師、介護福祉士、アナウンサー、新聞記者、医師、美容師、保育士、機械エンジニア、犬の訓練士、イラストレーター、エステティシャン
- ・講師は、「地域に学び、地域の人に学ぶ」を基本にするため、村内在住者、村出身者、近隣市町村在住者を基準に選出する。（PTA本会役員が講師を選出し依頼をする）
また、無償（ボランティア）でお願いします。
- ・全学年参加し、自分の興味のある講座を選択し受講する。保護者の参観も可能。

3. 成果と課題

- ・生徒が自分の進路について考えられるようになった。
- ・働くことを自分の問題としてとらえ、考えられるようになった。
- ・講義だけでなく体験活動もあり、全員が興味を持って集中して学習できている。
- ・地域の方々と学校の交流の場になっている。
- ・課題は、毎年講師の方々の準備が大変であると思われる。ありがたい気持ちと申し訳ない気持ちである。

